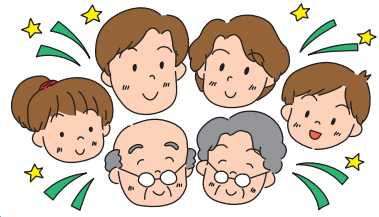


■ 高齢者・障害者・家族等



支援・連携体制

～ 地域リハビリテーションの流れ ～



地域リハビリテーション ってな～に？

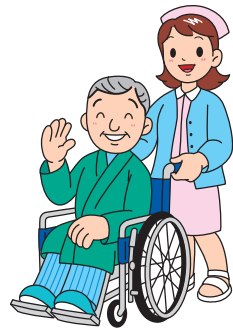
障害のある人々や高齢者およびそのご家族が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、いきいきと活動・生活できることを目指し、医療や保険、福祉及び介護などの生活にかかわるあらゆる人々や機関・施設・組織とリハビリテーションの立場から協力しあって行う活動の事をいいます。

■ 予防的なリハビリテーション

急性期 リハビリテーション

発症から約1ヶ月以内の時期には、廃用性症候群（床ずれなど）の予防を中心とするリハビリテーションが行われます。

- 医療施設
病院・診療所

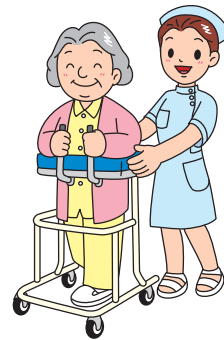


回復期 リハビリテーション

急性期に引き続き、3～4ヶ月間、家庭復帰を目指して、日常生活動作訓練や機能回復訓練など各種のリハビリテーションが集中的・総合的に実施されます。

- リハビリテーション実施機関

- 【医療施設】
療養型病床群
- 【小児関係施設】
肢体不自由児施設
心身障害児施設等
- 【障害者関係施設】
身体障害者療護施設
身体障害者更生施設等
- 【高齢者関係施設】
介護老人保健施設
介護老人福祉施設等

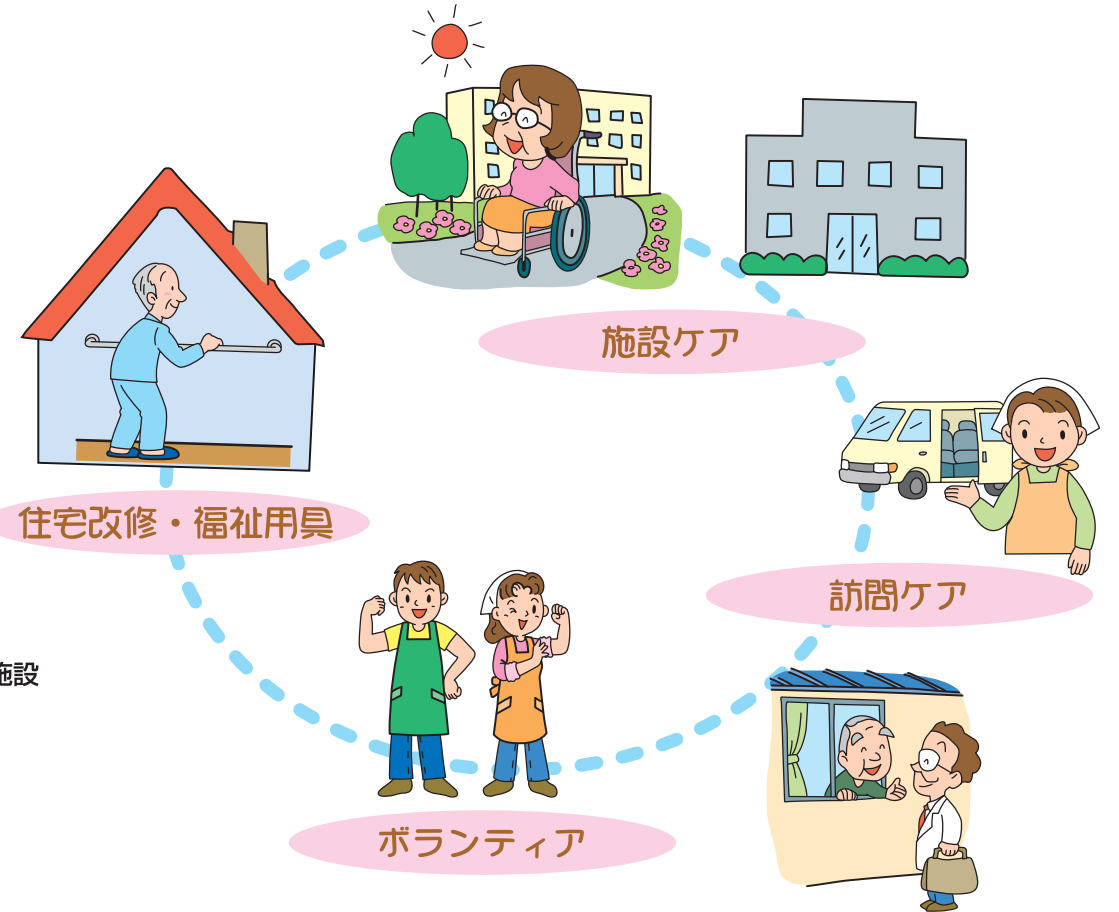


維持期 リハビリテーション

発症から約6ヶ月以降は、獲得された家庭生活や社会生活の維持、継続を支援するリハビリテーションが行われます。

家庭復帰

- デイサービス
- 市町村機能訓練事業
- 訪問リハビリテーション提供施設
- 住民組織



市町村

- ・ 保健センター
- ・ 医師歯科医師
- ・ ケアマネジャー
- ・ 在宅介護支援センター
- ・ 地域の有識者

地域リハビリテーション 広域支援センター

連携
支援

リハビリテーション 協力病院等

岩手県福祉総合相談センター

岩手県リハビリテーション支援センター (財) いわてリハビリテーションセンター

- ・ リハビリテーション資源の調整・研究
- ・ 関係団体との連絡調整等
- ・ 支援（人的）、技術研修の実施

岩手県リハビリテーション協議会

- ・ 連携指針の策定、見直し
- ・ 広域支援センター、協力病院等指定の協議
- ・ リハビリテーション体制整備の検討、事業評価等



岩手県の地域リハビリテーション の取り組み

このような地域の連携をより効果的に推進するために地域の中心的な役割となって働きかけるのが広域支援センターの役割です。岩手県では10施設が広域支援センターとして指定され活動しています。